



## 2021年度 木曽地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2021年10月11日（月）14：00～15：30

[場所] 木曽森野コミュニティセンターホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
木曽地区町内会・自治会連合会 会長 竹島 正

#### ○ 連合会長の挨拶

木曽地区町内会・自治会連合会 会長 竹島 正

#### ○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

#### ○ 職員の紹介

#### ○ 市政懇談会について

#### 第1部 地域の議題に関する意見交換

1 プラスチックごみのリサイクル化について

【環境資源部】

2 教育センターの建て替えについて

【政策経営部】

3 新型コロナウイルスの感染者数の公表について

【保健所】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

#### ○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 木曽地区町内会・自治会連合会 副会長 大橋 誠治

2021年度 木曾地区町内会自治会連合会 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2021年10月11日(月) 14:00～15:30

[場 所] 木曾森野コミュニティセンター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 小池 晃

環境資源部長 野田 好章

保健所保健総務課長 中坪 裕一

保健所保健総務課担当課長 田村 光平

政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

木曾地区町内会自治会連合会長 ほか26名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部忠生市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

木曾地区町内会・自治会連合会会長

○木曾地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

## 第1部 地域の議題に関する意見交換

### 1 プラスチックごみのリサイクル化について

町田市のごみの量は他の市と比較して多いのが現状であり、さらなる分別回収のお願いが6月の広報にありました。

しかし、町内会単位での資源回収、個人としての紙ごみの分別等かなり努力している中で、ごみが減らないのは「可燃ごみ」に含まれているプラスチックごみが分別して回収されていないことに最大要因があると推定できます。プラスチックごみを分別・回収し、資源化することがごみ減量の絶対条件だと考えます。

そこで、質問します。

(1) 市が南地区で進めている「容器包装プラスチックの資源化」の実績とごみ減量の効果について、検証結果はどのようになっていますか。

(2) 今後他の地域への展開はどのように計画されていますか。資源ごみ処理施設も増設されるのですか。

## 【回答】

### 環境資源部長

プラスチックの資源化についてお答えします。プラスチックについては、柔らかいプラスチックは燃やせるごみに、硬いプラスチックは燃やせないごみに、日ごろから分別していただき、御礼申し上げます。

まず(1)市が南地区で進めている「容器包装プラスチックの資源化」の実績とごみ減量の効果について、検証結果はどうなっていますか、についてお答えします。南地区においては、2016年4月から、他の地区に先行して、(町田街道小川交差点の西側にある)可燃ごみ中継基地として稼働しているリレーセンターみなみに、容器包装プラスチックの圧縮梱包処理施設を追加整備して、JR横浜線以南地域を対象に容器包装プラスチックの分別収集を実施しています。

南地区における容器包装プラスチックの資源化量は、年間1,000トンと計画しておりましたが、2020年度の資源化量は年間430トンにとどまっています。南地区の方々に、ごみ分別の必要性についてご理解いただけるよう、容器包装プラスチックの分別についてのチラシを、町内会・自治会宛に送付させていただき、回覧板などで周知していただいているところです。今後も引き続きご協力をお願いしてまいります。

次に(2)今後他の地域への展開はどのように計画されていますか。資源ごみ処理施設も増設されるのですか、についてお答えします。まず資源ごみ処理施設も増設されるのですかについてですが、2013年4月に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、リレーセンターみなみのほか市内2ヶ所に資源ごみ処理施設を建設することとしております。

資源ごみ処理施設の建設地は、現在のところ、相原地区、上小山田地区とし、相原地区については、2021年度中の都市計画決定に向けて調整を進めており、2025年度を稼働目標年度としています。上小山田地区については、事業に必要な用地の確保に時間を要しており、2027年度を稼働目標として進めております。

また、今後他の地域への展開はどのように計画されていますかについてですが、資源ごみ処理施設の稼働に合わせて、市内全域での分別収集を進めてまいりますので、その際には皆様にもご協力をお願いいたします。

## 《質疑》

### 町田市議

先ほどごみのお話で1,000トンを予定していたけれども、2020年

度の実績では430トンであったということですが、これはどういった理由か教えていただきたい。

#### 環境資源部長

1,000トンを目指してはいたしましたが、他人事というわけではありませんが、ルールについては私どもがしっかりと皆さんにお伝えできていないのかなというところが最大の要因だと考えております。先ほどお伝えしたとおり、今まで以上に色々啓発活動をして1,000トンを目指したいと考えております。

#### 町田市議

そうしますと、2021、2年度の目標は2020年度の目標1,000トンと比べて少し下げたということでしょうか。

#### 環境資源部長

結果的には数値的な問題でございますので、下げたのではなくて、結果がそうでしたということになるかと思えます。

#### 町田市議

2021年度の目標を教えてくださいと思います。

#### 環境資源部長

これにつきましては、先ほどお話ししたとおり、年間1,000トンを目指すということになります。もう一度重複して言わせていただきますけれども、2020年度の数量のチェックをした結果、年に430トンということですから、今後についても年間1,000トンというのは目指していきたいと思っております。

#### 住宅供給公社木曽団地自治会

今の質問に類似していますが、1,000トンという数字の基準はどこから出されたということをお聞きしたいのです。

#### 環境資源部長

これは今までの各世帯のごみの出し方というのが個々にあると思います。南地区については若干今マンションも増えていて、年齢構成も変わっているところもありますが、この2016年に作った段階でのトレンドをみながら、分別できるプラスチックの資源化量というのを細かい算定をしまして1,000トンということになります。

次にまた質問が来るという想定でお話ししますと、これについては見直しをしなければいけないと思っております。

#### **住宅供給公社木曽団地自治会**

処理施設の内容ですが、こちらの資料を見ればわかるかと思うのですが、分別とか資源ごみ処理の施設の内容を簡単にご案内できますか。

#### **環境資源部長**

お手元の今日お渡しした資料で、4ページと5ページ目を開いてください。燃やせるごみと燃やせないごみとありますが、リレーセンターみなみにはそのうちの燃やせるごみが搬入されます。また、容器包装プラスチックも搬入されますが、委託をかけて異物を取り除く作業をしています。ここではパッカー車が一回全部出しまして、大きいベルトコンベアで手作業にてペットボトルとか要するに容器包装でないものを再度分別しています。チェックだけで済むならばそれでいいのですが、実際には異物がありまして、そこで手作業で分別していると。簡単すぎる回答になりますが、そういう内容になります。

#### **住宅供給公社木曽団地自治会**

それでは人力でやっている、ということですね。

#### **環境資源部長**

人力です。

#### **住宅供給公社木曽団地自治会**

私は数年前に静岡にある施設を見学したので、こういった取り組みをやっているのかなと連想できましたけれども、市民の皆様には詳しく、広く周知していただければと思います。

#### **(司会) 地区連合会長**

ご回答はいいのですが、私の方からも一つお聞きしたい。これは境川団地に配られている年間のカレンダーです。ここの燃やせるごみの出し方というページがありますが、ここに写真があってこういったものが燃やせますとあります。そこの一番上の左側の子どもたちの使う野球のグローブを例として出している意味はありますか。あまり今、グローブを使う、ごみを出すってことはどうなのでしょう。ずっとグローブの写真が載っています。自分がごみを出すときに考えますが、この燃やせるごみの中で日常的に使っているのがあります。一番多いのはもちろん生ごみです。プラスチックも多いで

すね。グローブは今まで出したことないです。ご検討いただければと思います。燃やせないごみについて、家電で例えば髭剃りシェーバーとか、燃やせないごみの袋に入れて出します。そういうものはありません。このあたりをご検討いただいて、毎回同じなので見直していただければと思いますが、いかがでしょう。

#### **環境資源部長**

貴重なご意見ありがとうございます。前例踏襲でやっているところもあると思いますので。グローブもシェーバーもそんなしょっちゅう捨てるものではないのは理解していますが、トレンドに合わせて作成しています。今ご紹介いただいたのは10月1日からのごみカレンダーで全戸配布しております。ご利用いただければ幸いです。グローブについてはそういうことで、燃やせるごみで出していただければ幸いです。

#### **境川の緑地を守る会**

相模原市のごみの場合、全部燃えるから大丈夫と結構なものまで回収しています。町田では燃えないもので出しているものです。焼却炉の性能はどの程度なのか。東京都も結構前は別にしていたものが焼却炉で処理されています。焼却炉の高性能化はどんなものなのかなと思っています。場所によってはこちらで不燃というものが燃えてしまって処理されているようなものが導入されています。

#### **環境資源部長**

基本的に町田市のごみ政策につきましては、最大限燃やすべきものでなくリサイクルすべきものにつきましては、全てリサイクルしていくという方針です。先ほどご説明いたしましたプラスチックの施設ができていないので、基本的には相模原さんの方とは若干違い、そういう分別の仕方を皆さんにお願いしながらリサイクルをしていきます。それが地球温暖化という大きいテーマになりますが、そういうところにもつながっていくので、今環境政策としては動いているということでご理解いただければと思います。

#### **境川の緑地を守る会**

当然リサイクルするものは分別するのですが、泥だらけで埋めてしまうようなものは、結局埋めても溶けずに地球上に残ってしまいます。そういうものを処理するという、もっと幅広い意味でお聞きしました。

#### **環境資源部長**

基本的には燃やせるごみについては4ページに書いてあるものが基本的な

ものです。燃やせないもので埋め立て処理は、基本的に今、町田市はしておりません。全て焼却したものについては、残渣、要するに燃えかすについては、日の出町の方に他の市と連携して、日の出町にも埋立処理場もありましたが、エコセメントといったセメントに切り替えをしています。基本的にお話しいただいた埋立というのは、現実にはやっていないということになります。

## 境川の緑地を守る会

こちらで燃えないごみとして処理するものが他の地域では燃やされている。再生もできない、どうにもならないわけですよ。当然、今、エコの時代ですから、再生するものは当然再生しますが、再生もできないものについてお聞きしました。

具体的には、例えば、缶カラの腐ってその辺に落ちていて再生できない、どうにもならないようなものがあります。結局それは不燃物に出しますよね。普通の缶でしたら再生できますが、再生できないものです。

出す時点、選別の時点で燃やせないごみに入ります。潰れてどうにもならない缶とかでしたら当然燃えないごみに入ります。そういったものを処理されているからどうされているかなとお聞きしました。

## 環境資源部長

相模原市でもそういう処理ができるというお話がありましたので、問い合わせをして、何か新しいルールができるようであれば、それはお預かりして、また機会があればお答えしたいと思います。

## 2 教育センターの建て替えについて

町田市内にある公共施設の今後のあり方が検討されている中、「公共施設マネジメント情報誌 ぷらっと」を見ると木曽地区にある教育センターも再編、統廃合の計画の対象になっています。

そこで、質問します。

(1) 教育センター建替えの完成までのスケジュールと、建物の大きさや中身についてお聞かせください。

(2) 現在、教育センターを木曽地区協議会の活動室として利用しており、グラウンドも地域のイベントで利用していますが、建て替え後も現在と同様にこの場所で使用できるのでしょうか。また、震災時の避難施設としての役割はどうなるのかもご回答ください。

(3) 建て替え工事期間中、活動室や避難施設等がどうなるのか、お知らせください。

## 【回答】

### 政策経営部長

(1)

まず最初に、今までの経過をお話しさせていただきます。

町田市では、2018年に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の再編を進めています。この計画の中で、教育センターは、「利用面積を圧縮し、空いたスペースを現在行っている主な事業と親和性のある他機能を複合化する。」ものとしています。ようは、今は旧校舎だったところをそのまま活用しているので、かなり広く利用していますが、教育センターが本来、必要とするスペースに絞って利用することにして、空いたスペースで教育センターと関連性のある機能を複合化しましょう、というものです。

そこで、2021年3月に、どのようなサービスと複合化するか方向性を定めた「民間とのコラボレーションによる公共施設の建替え方針」を策定しました。

この中で、教育センターと複合化する公共サービスは、現在、町田駅の周辺にある2つの施設、子ども発達センターとわくわくプラザ町田（シルバー人材センター）としました。

また、市で使用しない土地については民間に貸し出し、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できるサービスが展開できないかと考えております。

ご質問いただきました建替えの完成までのスケジュールですが、現在の予定では、今年度「（仮称）町田駅周辺公共施設再編構想」を策定し、その中で教育センターの複合化についても、コンセプトや事業手法を整理します。

その後、2022年度から2023年度にかけて、2つのことに取り組みます。

1つ目に、現在制限のかかっている教育施設以外にも建物が建てられるようにするための都市計画の変更をします。

2つ目に、具体的な施設面積や事業手法を決定する基本計画の策定をします。

2024年度には民間事業者を公募、決定していきたいと考えております。2025年度あたりから既存施設の解体や建設が始まる予定です。完成時期については、建設する規模や内容、またコラボレーションする民間事業者によって変わってくるかと思いますが、2028年度にはオープンさせたいと考えております。

次に、建物の大きさについてですが、公共施設部分が、どのくらいの面積が必要か検討中です。基本計画の中で詳細な面積を算出したいと考えております。また、中身として、どのような施設が入るかについては、先ほどお伝



えしましたとおり、子ども発達センターとわくわくプラザ町田にあるシルバー人材センターを複合化します。

民間施設部分については、契約する民間事業者がどんな事業を展開するのか次第になるかと思えます。

(2)

二点目にご質問いただいております、建替え後の木曽地区協議会の活動室の利用についてですが、先ほどお伝えしたとおり、公共サービスとしては、子ども発達センター・わくわくプラザ町田と複合化すること、また、民間サービスとしては、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できるサービスと複合化するというところまでは、定まってきました。

次のステップとして、今は、教育センターの敷地や建物が現在、担っている機能を洗い出すとともに、それらの機能を今後どのようにしていくか検討を始めたところでございます。関係する方々と話し合いながら、進めていきたいと考えております。

次にグラウンドについてですが、たまたま学校の跡地だったことからグラウンドがありますが、今後は整備しない予定です。また、避難施設としての役割については、近隣施設の状況を見ながら検討してまいります。

(3)

三点目にご質問の、建て替え工事期間中の木曽地区協議会活動室ですが、近隣の公共施設内に代替の活動場所を設置できないか、現在検討を行っております。

次に、避難施設ですが、近隣の忠生第三小学校と、町田第三中学校も震災時の避難施設として指定されております。これらの学校も統廃合が計画されていますが、忠生第三小学校は2033年度まで、町田第三中学校は2030年度まで既存校舎を使用することとなっているため、近隣の2校へ避難していただくことを想定しております。

## 《質疑》

### (司会) 地区連合会長

整理しますと、2022年度から23年度が、都市計画、要するに建物を大きくするためには建蔽率とか容積率とか、用途等そういったことが都市計画法に決められていますが、それを変えていかないともっと大きなボリュームの建物や、中身についても法律的な網がかかっていますので、それを今後ある姿にするためには、都市計画法を変えていかなければなりません。大きな建物を建てるためには建蔽率、容積率も緩和していかなければならない。それを2022、23年度に決めますということです。なおかつ基本的な計

画は床面積等も含めて決めていきます。翌24年度に民間事業者を決定していく。さらに翌年25年には今の建物を解体します。最終的に新しい形の教育センターが2028年度の時点で、新しい姿を皆さんにお披露目できる、そういう流れをご説明いただきました。

二番目の教育センターの今ある活動室やグラウンドですけれども、今後それを今ある教育センターの機能を洗い出すというお話でした。これは例えば今使っている利用している団体とか関係者等に何か話し合いの場を設けるということでしょうか。

#### **政策経営部長**

是非そういう場を設けて、意外に盆踊りとかいろんな使い方をしていると思いますので、対応していきたいと思います。

#### **(司会) 地区連合会長**

ありがとうございます。現在教育センターを使っている機能を、この部分は継承していこうとか、この部分は削っていこうということも含めて話し合いの場を用意していただけるということですか。そういう中で我々木曾地区の住民にとって使い勝手がいい教育センターの新しい形にしていきたいと思っています。グラウンドについてはもう一度お願いします。

#### **政策経営部長**

グラウンドについては、今はグラウンドとして使用していますが、正式なグラウンドではないので、今の段階では今後整備をしないという方向です。

#### **(司会) 地区連合会長**

整備しないということは、グラウンドとしてのあり様を変えることは将来的にないということでしょうか。

#### **政策経営部長**

今の段階では、そういうことです。ただ、先ほども色々とお話伺いながら検討していくというところで、他に代替できる場所はないのか等、今後の課題といたします。

#### **(司会) 地区連合会長**

例えば今クリーンセンターの調節池を整備していますが、下が境川の造成したもので大きなプールができます。その上が大きな広場や公園になる。そういったものに、例えば代替地として用意というようなことは、想定の一つに入っているのでしょうか。

## 政策経営部長

はい。今、会長おっしゃられた通り、すぐ下のクリーンセンターのところが、かなり広いと思いますので、今のところ広場と決まっていますが、グラウンドの代替地として使用できるのかこれから検討していきたいと思っています。

## 木曽南自治会

角度の違う質問させていただきたいです。木曽地区が町田市全土において、比較して65歳以上の人口比率が一番高いのはご存じでしょうか。

## 政策経営部長

今、初めて聞きました。

## 木曽南自治会

実は特殊な地域になっています。北の小山ヶ丘の方と、南地区の方とは違う状況に今なっていることがポイントですね。ここにそういう施設を作るのはいいとは思いますが、ここに来る交通手段をお考えでしょうか。ということを検討してほしいです。なぜかというと、去年の時にも実は話が出ましたが、団地が非常に多い地域で、65歳以上の人が多い地域で、市民病院に行くのも大変だという話も出ました。そのため、作るのはいいですが、どうやって来ればいいのか。神奈中は減便されています。タクシー代が高くなっています。その箱ものが本当に木曽地区にとって必要なのかどうかというのは、考えていただきたいです。または、一人一人にタクシーチケット配るので大丈夫という話であればいいです。子どもの人口も減っていると思います。そうすると、木曽地区にそれを持ってきても、木曽地区の人は利用しないで、他の地域の人が利用するという話だと、それはどうなのかなと思います。

## 政策経営部長

子どもセンターは今ありますので、それはそのままになります。子ども発達センターすみれ教室、就学前の子どもの発達を手助けする、そういう施設があります。認可の部門と、相談に来るお子さんも来ますが、町田市全体から集まってきます。今あるすみれよりも少し北側になるので、もちろんバスでお迎えに行きます。そういう意味では二つの大きい都計道に接している方が、場所的には非常にいい場所になります。シルバー人材センターの事務所があるわくわくプラザは駅から遠くなりますけど、ただ古淵の駅からは歩ける距離にはなっています。市街から歩いてくるのは大変ですが、そういったところで、この二つが複合化させることがベターではないかという構想を出

しています。

## 木曽南自治会

木曽地区の人が使えないものは作らないでいただきたい。古淵の駅って町田でもまれにみる長距離の坂で上りも下りも結構きついです。ここにいる方たちは皆さんご存じです。木曽地区の人が使わないものをあそこに作るのはどうなのか。恐らくここ数年、高齢化社会の話はずっと問題にされていて、自治会長のなり手がいない、自治会の運営も難しい、盆踊りも成り立たない、病院に通うのも大変という話があります。そういった話が正直伝わっていつてないかなと思いました。市民協働の人はご存じかと思います。その辺がシェアされてないで、教育センター潰しました、立派な建物建ちました、でも、箱ものだけ作って、木曽地区の人が誰も利用しないで他の地域から来ていますとなるのは、納税者のバランス的な話もそうだし、地域のバランス的にもどうなのかなと思えます。病院に行くのも大変です。前回の市政懇談会、そういう話になりました。だから神奈中増やしてほしいと言ったけれども、無理ですと、それであればどうしてくれるのって話になりますが、また箱ものを作ってもそこに行くのにどうするのということがありますので、そこを検討していただけたらと思います。

## 政策経営部長

実は箱ものを作る話ではありません。公共施設を再編する話なので、大本にまずそこを理解してもらいたいです。町田市全体としての過剰な投資をしなければならぬということはありません。特に今まで、大きな団地は、急激に人口が増えて急激に人口が減りました。そういう状況の中で、町田市全体も、もう一回町を作りかえないと、将来さびれた町になりかねません。ですから、機能を圧縮して効率的な施設を配置していきましょうという取り組みがベースになっています。もともとは教育センターがありまして、ただ古い校舎をずっと使っていて、体育館はありますが、耐震もしてないのが、そんなものを建てたままにしているのか、そこで今度、中町にあるすみれ、あれをなくし、こっちにやることによって、効率的に教育センターとすみれ教室という、つながりがあるものを配置します。さらに民間の事業者を活用してもらおうという取り組みです。

## 木曽南自治会

それができて、若い人たちが住めるようになってくれたらいいですね。したら町が活性化してってことだと思います。そのように言ってもらえるといいかもしれないです。検討するときには町の事情もわかっていただきたいなと思います。

## 政策経営部長

3月に建替え方針を出しました。これは町田駅周辺のものに限っています。町田駅周辺の二つの施設がこちらの方が移るという方針です。今、お話ししたようなことも出てきますので是非ご覧ください。

## (司会) 地区連合会長

皆さんには資料がありませんが、ご興味ある方は見ていただければと思います。お配りしているぷらっとにも載っています。

## 住宅供給公社木曾団地自治会

今お話しで出てきた施設、建物の仮称はあるのでしょうか。

## 政策経営部長

これから考えていきます。

## 3 新型コロナウイルスの感染者数の公表について

現在、新型コロナウイルスの感染は全国規模で拡大し、町田市ホームページでは、毎日の感染者数が年齢別で公表されています。そこで、質問します。

(1) 現在話題になっている子どもの感染状況を確認するためホームページを検索しましたが、19歳以下のひとくくりで表示されています。どの年齢の子どもの感染が増加しているのかを確認するため、もう少し細分化して表示できませんか。

(2) 現在、家庭内感染者が増加傾向にあります。数字の公表のしかたによって、危機感の伝わり方も変わると思います。感染拡大を抑制する行動につながるよう、現在の状況に合わせた効果的な伝え方を検討してもらえませんか。

## 【回答】

## 保健所保健総務課長

日頃より新型コロナウイルス感染症予防対策にご理解ご協力を頂きありがとうございます。おかげさまで、10月1日から緊急事態宣言が解除されました。

町田市での、いわゆる第5波と呼ばれたときの感染状況と、現在の感染状況をご紹介しますと、最も多い1週間あたりの感染者数は、8月の第3週(8/16～8/22)で、679人でした。ちなみに1日あたり最も感染者数が多かった日は8/4になるのですが167人でした。

現在は先週1週間(10/4～10/10)で24人となっております。

東京都では、10月24日までをリバウンド防止措置期間として、新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため、外出の際は、少人数で混雑している場所や時間を避けて行動することを呼びかけています。ソーシャルディスタンス、マスクの着用、換気といった基本的な感染症予防対策と併せまして、引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(1) のホームページの新型コロナウイルス感染症の年代別感染者数の細分化でございますが、子どもへの感染が見られるようになったこと、また、木曽地区連合会の皆様から議題として頂いたことを受けまして、9月14日の更新時から、これまで「19歳以下」としていたくくりを、「10歳台」と「9歳以下」に細分化して掲載するよう変更しております。

(2) の「感染拡大を抑制する行動につながるよう、現在の状況に合わせた効果的な伝え方を」でございますが、保健所では、患者さんご本人とご家族の人権尊重・個人情報の保護に配慮しながら、適宜、掲載方法の見直しを行っております。また、漫然と数字だけを公表するのではなく、「現在の市内の感染傾向等」として、例えば、「40代以下の割合が新規感染者の90%を占めています。10月1日から東京都では緊急事態宣言が解除され、リバウンド防止措置が実施されています。引き続き、普段からの体調管理、マスクの着用や手洗いの励行をお願いします」といった保健所からのメッセージを掲載しております。

今後も、感染状況に応じて、強調したい部分を明確にするなどの工夫をして発信してまいります。

## 《質疑》

### 木曽町中原自治会

一つは、表示の方法が現在、おっしゃられたように、10歳台と9歳以下と年齢が分かれています。前は19歳以下となっていました。10歳台、これは10歳から19歳までです。小学校の高学年から大学の1年生くらいまで入りまして、それを一括りにされると困りました。というのは、うちの自治会は忠生第三小学校で盆踊りをします。その盆踊りに来る客層は、うちの自治会だけであれば200人くらいで済みますが、近隣の忠生第三小学校に通っている子どもたちが圧倒的に多いです。うちの自治会だけで盆踊りをしているというよりも、地区のために盆踊りをしているようなものです。そういったことを考えると、今年の8月の盆踊りを計画しようとしたときに、まずホームページを確認しました。そうするとおっしゃるような19歳以下という一括りになっていて、子どもの感染状況がどうなっているのかが全く見えませんでした。夏休みが終わって、子どもたちが登校し始めると、また感染拡大するのではないかという話も出ました。そのときもホームページを見ましたが、やはり19歳以下となっていました。私が知りたいのは、小学校

の高学年、あるいは中学生、それから高校生、そういう年齢ではなく、学校の制度の区分けで表現できないかなと思いました。年齢で言われても15歳は中学生なのか高校生なのか、よくわからないという現状になるので、その辺の表記の仕方をもう少し細分化できないか考えていただきたいと思います。

### 保健所保健総務課長

日頃より地域のコミュニティのためにということもあり、盆踊りをしているというお話をお聞きして、地域のお子さんたちにとっては、楽しみで嬉しいことなのではないかと思いました。今のお話は、どの年代というよりは、小学生なのか、中学生なのか、高校生なのかわかるようにというご質問なのかと思ってお聞きしていました。例えばどの小学校で流行っているとか、どの地域で流行っているのか、という話になったときに、場合によってはさまざま口コミ情報などと合わせることで、あの学校のあのクラスで今発生しているといった、差別、あるいは区別といったことにもなりかねないというのを懸念しているところでございます。感染の拡大をさせないという意味では、学校教育部と保健所で連携をして調査をし、必要な対応をしております。発表に当たっては、現在はこの小学校とか中学校とかいう出し方ではなくて、10歳台刻みで、この年代で流行っていますという公表の仕方にしております。ご意見としてはいただきますが、市としては、申し上げたとおりの考えでおります。

### 木曾町中原自治会

数字の表記の仕方だと思いますが、新聞に例えば町田市、今日が何名増えたと新聞に数字が毎日公表されて載っています。その数字を見ると、ホームページの合計欄と新聞に出る数字が違います。ホームページでは、10月3日までの合計が7,318名となっています。ところが、新聞では8日現在で、6,982人と300ほど少ないです。この辺がどこでどういう数字に置き換わっているのか、あまりにも違いすぎるかなと思います。

### 保健所保健総務課長

まず新聞報道に出ている数字ですが、あの数字につきましては東京都が公表している感染者数を出しています。東京都が発表している数字ですが、住民票のある人をカウントして数字として出しています。町田市の保健所は住民票のあるないに関わらず、町田市内に住んでいる方をカウントしています。地元の保健所で数えている方が数は多いというのが現状でございます。あと、もう一つ、保健所のホームページが10月3日で、新聞では8日という話ですが、保健所では感染者数を毎日出していますが、市内の感染者数の

経過や年代別のところにつきましては、処理が煩雑になりますので、一週間に一回、火曜日にホームページを更新しておりますので、そこはご了解いただければと思います。

## 木曾親和会

昨年10月20日にここで市政懇談会をして、その議題として出した問題があります。それを市民協働推進課の方から電話がありまして、その問題は没にしてくれとありました。また改めて時間があつた時に話をしましょうという話でした。私は個別の話にしてくれとは思いましたが、その話は未だにないし、それを個別にやるという話を連合会の会長に話をしたのかもわからない。議題も削除されています。それは個別に説明すべきです。そういったことがありますので、市長の耳にそれは入っているのかどうなのか。そういうのは個別に説明しないと、補助金詐欺という問題も新聞に出たので、私は質問したいのです。

## 市民協働推進課担当部長

議題を頂戴しているものについては、それを取り下げるのであれば、丁寧に取り下げた説明と個別としてのお話をしなくてはいけないと重々知っておりますので、こちらの方について改めてお話をさせていただきます。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

皆様に今日お配りさせていただきました「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をご覧くださいと思います。今日来られていない方からあれはどうなったと聞かれた場合、ここに記載してあることについては皆さんが説明できます。そういう活用を是非ともお願いいたします。

最初に新型コロナウイルスの関係です。

昨年4～5月に行いました、1人10万円の特別定額給付金事業、約432億6千万円です。これは国からの地方創生臨時金として出しました。

子育て世帯臨時特別給付金も交付しました。それから、家賃の補助もしています。飲食店の皆さんは大体テナントです。非常に厳しいということで4回行いました。第一弾は、利子補助と合わせて約10億6千万円、第二弾 約5億2千万円、第三弾 約4億円、第四弾 約3億円と4回家賃補助をしました。

医師会の皆さんに約2億円の資金援助をしております。旭町にある総合体育館にPCR検査センターを作りました。都内で8番目、多摩地域26市の



中では1番目に、昨年4月オープンしました。

その後、ひとり親家庭の臨時特別給付金もありました。特別定額給付金は去年の4月27日までに生まれた子どもが対象でしたが、市独自に4月28日以降に生まれた子どもに対しても10万を給付しました。

キャッシュレス決済については、去年の12月から1月にかけてと、今年の6月に、Pay Payさんをお願いしてプレミアムポイント事業を行いました。23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行っています。

飲食店のデリバリー支援は、出前館に頼んだ時のお店側と消費者側それぞれの費用を市が負担するキャンペーンと、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、2億円投入しています。

介護サービス事業継続支援事業は約2億8千万円、障がい福祉サービス事業継続支援事業は約1,800万円です。

現在、ワクチン接種事業は、12歳以上の全人口比63.5%とありますが、昨日時点で68%でした。今月末には8割くらいの方が2回目接種を終えます。65歳以上は今日現在9割超えています。

〇ごと大作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大で12月までに延長しました。約300のエントリーがありました。参加した人数は、Web上を含めて200万人です。目標は100万人でしたが、実際は200万人となりました。一番有名なのが、水かけ祭りです。消防署まで来ました。〇ごと大作戦の一番いいところです。決めたことしかやらないのではなく、あれもやっつけてしまおうという雰囲気をもととの趣旨なので成果が上がったなど思っています。

多摩都市モノレール整備は、まだ基金を積んでいる状態です。

オリンピック・パラリンピックについては、インドネシアのパラバドミントン代表チームの事前キャンプを総合体育館で行いました。ちなみにインドネシアのパラバドミントンは、参加した選手のほとんどがメダルを獲得しました。

野津田公園GIONスタジアムは、観客席を10,000席から15,000席に増設しました。今月から緊急事態宣言が解除されたので、観客数の上限が7,500人となりました。この前の試合では5,500人くらいの方が観戦に来られました。

グランベリーパークは一昨年11月にオープンしました。コロナ禍で大変ですが、かなりお客さんに来ていただいています。

熱回収施設は、来年1月に稼働予定で、10月に試運転を行います。生ごみを燃やさないでメタンガスを発生させて発電をします。首都圏では初めです。相原にビン・カンの処理施設を作るということで、都市計画決定を行います。

子育ての関連では、保育所待機児童数は昨年が130人で、今年の4月は

76人で約半分まで減りました。

町田第一中学校は二学期から新校舎で授業を行っています。さらに、小・中学校体育館の空調が、今年度全62校で整備完了します。非常用発電設備も設置しています。真夏でも冷房が入ります。冬でも暖房が入ります。避難した際に具合が悪くなるのを防ごうということです。

中学校の全員給食は、現在教育委員会で基本計画を作っており、市内3か所に給食センターを作る計画になっています。2025年度頃には、中学校の全員給食が始まる見込みです。

最後に、特別養護老人ホームの整備が進みまして、入所申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は約85%です。大体の人が申し込みから1年で入所できるという時代になりました。

## 《質疑》

### 木曽親和会

何ヶ月も前ですが、民生委員というチラシがありました。わたしのところは民生委員がいません。もう4年も5年もいないと思われ。今、高齢者が多くて、都営住宅は特に高齢者が多いため。私たちが民生委員のようなことはできないものですから、何とか民生委員の方を増やしていただいて、やっていただかないと、困っていますのでよろしくお願いいたします。

### 市民協働推進課担当部長

福祉総務課というところが、民生委員の登録をしていただいて地域の方たちをお願いをしているところです。今のお話はしっかりと伝えて、体制づくりができるように申し伝えていきたいと思っております。

### 木曽町中原自治会

小中学校の体育館の空調というテーマですが、これは冷暖房ですよ。実は忠生第三小学校がうちの近くにありますが、設備が非常に低いところにあります。発砲スチロールで隠してあります。我々、避難訓練で体育館使わせてもらうことがあって、なんでこのようになっているのかを聞くと、低すぎて子どもが走り回ると危ないということで発砲スチロールをかぶせてあります、という回答をいただきました。一度設備を見て回った方がいいと思っております。どういう施工の仕方をされているのかわかります。

### 町田市長

私も現場をいくつか見ております。冷暖房の施設を、どういうふうに行っているのか、現地のいわゆる見学会もやりましたので、承知しております。

普通のイメージから言うと低い位置に付いています。これは輻射式と言いますが、輻射板を冷やして冷房するものが体育館の両サイドにあります。冷房は人間の高さに効くようになっていたため、人間の高さに近い低い位置に付いています。暖房も同じです。輻射板を暖めて暖房するため、天井の方は寒いです。普通の暖房だと体育館の天井の方が暖かくなりますが、この暖房方式は人のいる中間帯だけを暖めて上の方は寒いままです。今お話ししたとおり、かなり低いところに付いているので、クッション材で保護しているのだと思いますが、冷房効率、暖房効率のために低いところにあるということをご理解いただきたいと思います。

#### **(司会) 地区連合会長**

私は南大谷中学校でお手伝いをしていますが、教室のエアコンが壊れまして、まだ修理できていません。そういうメンテナンスの部分をきっちりやった方がいいのかなと思います。だから教室を変えて授業しています。先生方は苦労しています。機械ものですからいつ壊れるのはわからないし、色々トラブルがあると思います。そこのケアをよろしくお願いします。

#### **町田市長**

2012年に施工した設備で、今年10年目でございます。設備系ですと、10年だとかなり点検しないと危ないという、今年はそういう年です。南大谷中学校は震災の後に設置しましたので、そろそろ点検をしないと危ない時期に来ていると今そう思いました。

#### **○閉会の挨拶**

木曽地区町内会・自治会連合会 副会長